

【6月の活動目標】

読書を通して平和について考えよう

『平和月間』(6/3～6/28)

今年で戦後79年目を迎えます。それから長い年月が流れ、皆さんには自分たちとは関係ない遠い出来事のように感じるかもしれません。現代に生きる私たちは、戦争の記憶を風化させないこと、住民が戦闘に巻き込まれ多くの犠牲者を出した沖縄の歴史を忘れないことが必要です。本を通して戦争と平和について考えましょう。



＜平和月間取り組み＞



- 沖縄戦写真パネル展示 (図書館)
- 戦争と平和に関する本の展示 (図書館)
- 本の読み聞かせ実施 (図書委員)

▶図書館で、『平和だな～と思う時ってどんな時?』つぶやき募集してます。

※平和への祈りを込めて折り鶴を折りませんか?
図書館に折りに来てください!

『宮古島市歴史文化ロード』

あやんつ せんそういせきへん
『綾道』 戦争遺跡編



綾道(あやんつ)戦争遺跡編は宮古島でも戦争の悲劇があったことを記憶に刻む一冊です。皆さんの、曾おじい曾おばあ達が体験したであろう宮古島の戦争。美しい島で本当にあった戦争を次世代まで、語り継ぎましょう。
※禁帯出本です。館内で読んで下さい。

今月のイチ推し本

『雨にシュクラン』



こまつあやこ/著
憧れの高校に合格し、
書道部に入った真歩。

しかし、父の療養のために引っ越しをすることに。高校を辞め、図書館の宅配ボランティアを始めた真歩は、本を届けに行った家でアラビア書道というアートに出会う…。爽やかな読後感。自分らしく生きたいと思いつつ悩んでいる人にすすめたい一冊です。
アラビア語で『شكراً لك』(シュクラン) どういう意味か、是非読んで確認してください!!

戦争・平和に関する本



今月の漢字クイズ

雨がつく漢字を集めました!

難読漢字多数です(^^) /

図書館に挑戦しに来てね!!

先月の寿司ネタ漢字クイズ参加風景です👉



※裏面に本の内容紹介があります。

戦争・平和に関する本内容紹介

『へいわってすてきだね』

安里 有生/詩

みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。



2013年6月23日、

沖縄平和祈念公園での沖縄全戦没者
追悼式で、小学校1年生の安里有生くんが朗読した
へいわへのメッセージ。



『へいわとせんそう』

谷川俊太郎/文

「へいわのボク」と「せんそうのボク」
では、なにが変わるのだろう。
比べてみると、平和と戦争の違いが見えてくる。



『へいわってどんなこと?』

浜田 桂子/作

きつとね、へいわってこんなこと。
戦争をしないこと、爆弾なんか
落とさないこと、家や町を破壊
しないこと…。絵本作家が手をつなぎ、子どもたちにおくる平和絵本シリーズ。



『そのころ地球では・・・』

オリヴァー・ジェファーズ/作
人間ははるか昔から、地球を切り
分けて場所をとりあい、争いをくりかえしてきた。「スーパー
宇宙カー」に乗った親子が宇宙
を旅しながら、人間の争いの歴史を振り返る。



『ツルとタケシ』(沖縄いくさ物語 宮古島編)

儀間 比呂志/文・絵

幼くしてハンセン病を得た妹。
はげしい戦禍の中をけなげに支える兄。
宮古南静園で展開するハンセン病患者たちの国による
隔離と根絶の悪法とのたたかい、明日を生きる源
として命の再生をみようとした、哀しくもいとoshii
物語。



『ももちゃんのピアノ』 沖縄戦・ひめゆり学徒の物語

柴田 昌平/文、阿部 結/絵

1945年沖縄。当たり前の日常が、
当たり前でなくなったとき、少女の命
をつないだのは、ピアノの音色だった。
ひめゆり学園の與那覇百子さんの
半生を描いたノンフィクション。



あのはげしい戦争のなかでも百子さんの支えが
音楽であったことが、心につきさります。

『風が吹くとき』

レイモンド・ブリッグズ/作

ジルとヒルダの平凡な日々を
突如襲った強い光と風。ふつうの
人たちが犠牲になる核戦争の脅威
を、コマ割りの手法で描いた世界的
なベストセラー。



『平和のバトン』

弓狩 匡純/著

被爆体験証言者の記憶を、
1年をかけて油絵に描いて記録する、
広島の高校のプロジェクト。
戦争や原爆を見つめなおしていくさま
を綿密に取材して描いたノンフィクション



『あんずの木の下で』

小手鞠 るい/著

手足の不自由な子どもたちのための
「光明学校」。戦時中、学童疎開の対象外
にされた生徒たちを自力で疎開させた
校長先生の苦労や、生徒たちの長く辛い
疎開生活を描いたノンフィクション。



『トットちゃんの15つぶのだいす』

黒柳 徹子/原案、柏葉 幸子/文、松本 春野/絵
トットちゃんが小学2年生のときに、日本は戦争をは
じめました。ある日、とうとう、1日の食べものがだいす
15つぶだけになってしまいます。それも、夜までなんつ
ぶか、残しておかなければならないのです…。あたたか
くやさしく描かれた絵を通して、大切なものがなくなっ
ていく戦争の姿が伝わる一冊。

